オリンピアン先生



おぎわら　つぎはる
荻原 次晴 先生

【スキー／ノルディック複合】

■生年月日　1969年12月20日
■出身地　群馬県吾妻郡草津町
■出身校　草津町立草津中学校－
群馬県立長野原高等学校－
早稲田大学



プロフィール

幼少期から双子の兄の健司氏と共にスキーに親しみ、小学校5年生からスポーツ少年団でスキージャンプ競技を始める。中学1年時にノルディック複合種目へ転向し、1994年からワールドカップに出場する。同シーズンに開催された世界選手権団体で優勝、ワールドカップでは個人総合4位入賞を収める。長野1998冬季大会に出場し、団体5位、個人6位入賞を果たす。同年現役を引退。2005年より長きに渡りJOCオリンピック・ムーブメントアンバサダーを務め、オリンピック・ムーブメント推進活動に尽力。2016年にJOCスポーツ賞特別貢献賞を受賞。現在はスポーツキャスターとしてメディアに多数出演する他、ウインタースポーツをはじめ様々なスポーツの普及活動に取り組む。また、アウトドアの活動経験から「次晴登山部」を創設し、日本の百名山登頂に挑む等、幅広く活躍している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

1998年	長野1998冬季大会	団体	5位
		個人	6位

<国際大会>

1995年	ノルディックスキー世界選手権大会	団体	優勝
1995年	FISノルディック複合ワールドカップ	個人総合	4位

<主な活動>

【メディア】
ラジオ　「荻原次晴のニッポン応援団 VIVA JAPON」　※その他多数出演中

【著書】
「次に晴れればそれでいい」（TOKYO FM出版）

スキー／ノルディック複合

ジャンプとクロスカントリーの両種目の成績によって順位を争う競技。ジャンプのテクニックや経験、クロスカントリーに必要とされるパワーや体力、精神力等、総合的な身体能力が求められることから、本場ヨーロッパではこの種目の王者に「キング・オブ・スキー」という称号が与えられます。



写真：JOC：フォート・キシモト

オリンピアン先生



てらむら　み　ほ
寺村 美穂 先生

【水泳／競泳】

■生年月日　1994年9月27日
■出身地　千葉県流山市
■出身校　流山市立東部中学校－
千葉商科大学付属高等学校－
日本大学



プロフィール

3歳から水泳を始め、5歳の時に競泳の選手育成コースへ進み、本格的に競泳競技に取り組む。中学2年時、平泳ぎ種目で日本選手権に初出場し、中学3年時に膝の怪我の影響で平泳ぎ種目から個人メドレー種目に転向する。同年、全中に於いて200m個人メドレーで中学新記録を樹立して優勝。その後、2度の手術を乗り越え、リオデジャネイロ2016大会に出場する。2020年・2021年の日本選手権で2年連続同種目で優勝。2021年に開催された東京2020大会への2大会連続出場を果たす。同年、現役を引退。現在は水泳アドバイザーとして、全国各地で水泳教室や講演会等を行い、後進の育成や競技の普及に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2016年	リオデジャネイロ2016大会	200m個人メドレー	9位
2021年	東京2020大会	200m個人メドレー	15位

<国際大会>

2018年	アジア競技大会	200m個人メドレー	3位
2018年	パンパシフィック水泳選手権大会	200m個人メドレー	3位
2019年	FINAワールドカップ	100m平泳ぎ　2位／200m個人メドレー	3位

<国内大会>

2020年・2021年	日本選手権水泳競技大会	200m個人メドレー	優勝

水泳／競泳

一定の距離を決められた泳法(自由形、背泳ぎ、バタフライ、平泳ぎ)で泳いでタイムを競います。それぞれの泳法はもちろん、スタートの飛び込みから水中動作、ターンに至る一連の加速、水の抵抗を極力受けないためのテクニックも重要です。10kmマラソンスイミングだけが、海や川、湖等、プール以外で行われ、オープンウォータースイミング(OWS)とも呼ばれます。



写真：JOC：AP/アフロ：三船貴光/フォート・キシモト

引用：JOC 資料